



NO. 238

2013. 4. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会

大阪市天王寺区東高津町12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 笹野井 庸夫

TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

定価 10円

新年度を迎えて

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
理事長 笹野井 庸夫

新年度を迎え、各支部ならびに各事業所におかれましては、新たな体制で臨んでいることと思います。

大阪市手をつなぐ育成会をご存知のとおり、「会員組織としての育成会」と「施設経営の育成会」の2つの性質を持つ組織となっております。

今回、「会員組織としての育成会」としては、昨年度に支部長会議を3回実施し、会組織の抱える課題と方向性、会員規則の見直しを行いました。今後は事業の充実、新しい会費単価での収支均衡と課題を検討しつつ、改善策について支部長会議を中心に会員の皆様の意見を尊重し積極的に進めて行きたいと思っております。

また、「施設経営の育成会」においても、施設長を含め人事異動を行いました。子どもの事を考え、保護者の皆様方にとりまして人事異動についてはご意見をお持ちの事とは思いますが、何時も申し上げますように次代を担う人材育成の必要性、制度の中での資格要件の問題も含まれており、深いご理解の程よろしくお願い申し上げます。今後も役員、施設長を初め全職員で保護者の皆様より信頼の置ける施設づくりを心がけて参りますご支援ご協力お願いいたします。

平成25年度は「施設経営の育成会」と「会員組織としての育成会」共々、今一度、どこまでも一つの観念を持ち会員全体の絆を深め、知的障がい者福祉の啓発に努めることを目的とする事を理念とし、今後も地域社会との交流を密に障がいのある人達のための地域づくりの一翼を担うべく、社会運動を力強く展開し子供達の安心、安全に暮らしていただける町づくり「共生社会」の実現に向け全会員が力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。

新年度を迎えて ～法人内各施設より～

平成25年度となり、法人内事業所においても管理

者をはじめ人事異動がありました。

4月号では各事業所の管理者から平成25年度の抱負や思いを掲載いたします。

連携の重要性

法人事務局
総務部長 泉原 貢

私自身の経歴としては、他法人の成人入所施設の勤務を経て、平成5年に大阪市育成会に入職しました。港第二育成園等の施設勤務のあと、平成10年4月から「つばさ工舎海老江」(現福島育成園)の立ち上げを担当し、昨年3月には西区事業所と施設等の開設にも携わらせていただきました。

また、知的障がい児・者のスポーツ活動では、入職以来、スポーツフェスタ・大阪市障がい者スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会と携わってきておりますが、今後は育成会においてもスポーツ振興を充実させ、スポーツを通じた「仲間作り」から「本人活動支援」へと繋げて行きたいと考えています。

4月からは法人本部で総務部長として専任になり、昨年度着手できなかった課題検討に着手するに先立ち、①会員組織としての「大阪市手をつなぐ育成会」との協働、②法人内施設や事業との連携、③現在実施している事業の在り方の検討、④組織や職員の育成といった4点を重点項目として位置付け、ご本人とご家族の皆様が安心して利用していただける法人を目指します。

そのためには、職員一人一人の意識改革と発想の転換が重要と考え、職員が一緒に働ける一体感のある組織でありたいと思っております。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。

